

2024年12月10日

各 位

会 社 名 ミネベアミツミ株式会社
代表者名 代表取締役 会長 CEO
貝沼 由久
(コード番号 6479 東証プライム)
問合せ先 広報・IR室長
小峯 康生
(TEL 03-6758-6703)

当社連結子会社による事業譲受完了に関するお知らせ

ミネベアミツミ株式会社（以下、「当社」）の連結子会社であるエイブリック株式会社（以下、「エイブリック」）は、2024年9月20日付「当社連結子会社による事業譲受に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、株式会社ソシオネクスト（以下、「ソシオネクスト」）から、ソシオネクストが運営するメディカル関連事業（以下、「本対象事業」）を譲受すること（以下、「本事業譲受」）を決定しておりましたが、本日、本事業譲受を完了いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本取引の目的及び今後の運営方針

当社は、超精密加工技術や大量生産技術等の当社の強みを発揮でき、且つ簡単になくならない製品をコア事業「8本槍」として位置付けると共に、これらを相合*（そうごう＝相い合わせる）することにより新たな価値をお客様に提供していくことを基本戦略としております。

エイブリックは、1968年、世界初の量産クオーツウオッチ搭載用CMOS IC開発を機にアナログ半導体事業をスタートさせ、「小型・低消費電力を実現する高度なアナログ技術」を駆使した製品開発を強みとしております。8本槍の一つであるアナログ半導体事業において重要な役割を担っており、車載、医療機器、産業機器、民生機器等の分野において高精度のアナログ及びミックスドシグナル半導体をお客様に提供してまいりました。

特に、2016年に㈱日立製作所より譲受された医療機器用ICは、エイブリックの注力事業の一つであり、超音波診断装置のキーデバイスである送信IC及び高耐圧スイッチICを主力製品として着実に成長を続けております。

本対象事業は、ヘルスケア・メディカル領域向けにハンドヘルド型超音波診断装置用ソリューション（LSI/基板モジュール/装置）を開発・販売しており、ワイヤレス・低消費電力・小型軽量・高画質を特徴としております。本対象事業の競争力の源泉は、LSIに加えてファームウェアも含めたシステムの深い知見と高精細画像生成を含む受信技術にあります。

本事業譲受により、これまでエイブリックが強みとしていた送信技術と対象事業の強みである受信技術の補完関係が生まれ、更に高付加価値の製品の開発及び市場投入が可能となります。その結果、超音波診断装置市場での更なるシェア拡大、その中でも急成長が見込まれるハンドヘルド型超音波診断装置市場で業界トップを目指してまいります。

当社は、本事業譲受により大きなシナジー効果を生み出し、アナログ半導体事業全体として2029年3月期の目標売上高2,000億円を確実に達成してまいります。

*相合：「総合」ではなく、「相い合わせる」ことを意味し、自社保有技術を融合、活用して「コア製品」を進化させるとともに、その進化した製品をさらに相合することでさまざまな分野で新たな製品を創出すること。

2. 事業譲受の概要

(1) 譲受事業の内容

ソシオネクストが運営するメディカル関連事業
(主に超音波診断装置及びLSIの開発・製造販売事業)

(2) 譲受部門の資産・負債の項目

本件事業に係る仕掛品、製品、有形・無形固定資産
(現金及び預金並びに上記記載以外の金銭債権及び金銭債務は対象外)

3. 今後の見通し

本事業譲受による2025年3月期の当社の連結業績に与える影響は軽微です。今後、開示すべき事項が発生した場合には、判明次第速やかに開示いたします。

以上